

# 寝たきり老人のSOS

46期生

## I テーマ設定の理由

「老いた自分」の行く末は…？今からこんなことを考えているようでは、夢も何もあったものではないが、結局人は皆、自分の老後生活の為に働く。死ぬまで人間らしく暮らしたいからだ。では、今「寝たきり老人」と呼ばれる人達はどうかだろう。「寝たきり」で、人間らしい生活ができるだろうか。それを考えたいと思い、このテーマを設定した。

## II 研究方法

- (1) 文献調査 老人ホームと在宅のそれぞれにおける、環境や老人介護の方法などを調べる。
- (2) 現地調査 老人ホームと老人福祉センターの見学。
- (3) 考察 老人ホーム入居と在宅介護のメリット・デメリットを、ディベート形式にしてまとめる。寝たきり老人にとって一番必要な福祉とは何かを考える。

## III 研究内容

### 1 「寝たきり老人」の定義

病気の治療の後、或いは怪我で障害状態が残り、6か月以上寝たままが続いている60歳以上の人を指す。しかし寝たきりと呼ばれる老人の大方は、努力次第で再起可能である。

### 2 老人ホーム vs 在宅——寝たきり老人に応えられるのは？（5段階評価）

①「家族や友人には、いつも近くにいる欲しい！」

**老人ホーム** 評価 D

家族や友人が老人ホームを訪問して来ない限り、老人は家族らと会えない。仮に訪問したとしても、毎日訪れることは（家が近くでない限り）まず不可能。よって、老人ホームではこの欲求は満たされないとと言える。しかし友人については、古くからの友人には会えないが、ホーム内や老人クラブとの交流等で新しい友人に出会うことができる。だから評価はD。

**在宅** 評価 B

家族全員というのは無理だとしても、誰か1人は必ず近くにいる。友人にとっても訪れやすい。まず欲求は満たされると言うて良いだろう。だがそれは家族と同居している老人にのみ言えることで、最近は家族と別居する老人が増えている。長男夫婦が親と同居し面倒を見るというのが日本の伝統的な考え方だが、近頃は自分を主張する「嫁」が増えてきているようで、「嫁・姑問題」が発生するため同居率が低下している



⑤「楽しく食事をしたい！健康食を食べたい！」

老人ホーム 評価 B

栄養士が計算して献立を立てているので、老人ホームの食事は全て健康食だ。品数も多く、老人の口に合うようにと和食がほとんど。又、糖尿病や腎臓病といった、食事内容や摂取量に関する病気を持つ人には、治療食が出る。嚥下困難なら、刻み食や流動食が出る。健康面に関しては申し分ない。

ただ、楽しく食事ができるかという点、そうとも限らない。介護者が一方的に食べ物を口に運んでしまう、機械的に食事をさせてしまうという事例がある。

最近はバイキング、レストラン風、行事食（おせち料理等）、外注食など、特徴のある食事形式をとるホームが出てきている。

▼表3 「ゆうゆうの里」1週間のメニュー例〔昼食〕

	月	火	水	木	金	土	日
春 (4月)	スープ 豚肉のしょうが焼 山菜煮 漬物	味噌汁 カニ玉 蓮根のそぼろ煮 果物のおろし合え 漬物	うずら玉子と三ツ葉の吸物 鶏肉のチーズ焼 大根の鹽煎煮 金時豆の煮豆 漬物	たけのご飯 スープ かにコロッケ 卵の花炒り フルーツ ヨーグルト 漬物	花ふと三ツ葉の吸物 他人丼 青菜のピーナツあえ りんごのワイン煮 漬物	コーンスープ ミートローフ じゃが芋のグリーンピース煮 漬物	桜えびと三ツ葉の吸物 油揚げ豆腐 野菜あんかけ きゅうりのなめこあえ 白滝の芋煮 漬物
冬 (1月)	キャベツの味噌汁 磯巻揚 かぶの酢漬 里芋の含め煮 しらな、かまぼこのからし合え 漬物	玉葱の味噌汁 煮魚 白菜、アスパラ、わかめの和風サラダ 大根の金平風 漬物	あんかけうどん 山芋のせん切 フルーツ白玉 漬物	わかめ、三ツ葉の吸物 大根、こんにゃく、里芋、鶏肉の煮込 白菜、人参の煮浸 もずくの酢の物 漬物	白菜の味噌汁 魚の唐揚げ 炒めなます 粉ふき煮 漬物	庄内めんの吸物 白身魚の塩焼 里芋味噌煮 オーロラソース かけ 漬物	白菜の味噌煮 かやく御飯 う巻卵 中華風の酢の物 漬物

在宅 評価 A

食事はやっぱり家族と楽しくしたいもの。それに、家族が作ってくれる食事は、どんな健康食よりも健康にいいはず（愛情がこもっているし、その家庭独特の味があるから）。食事に関しては、①和食中心に②塩分・糖分を取り過ぎない③魚は骨を取っておく等の配慮、以上の3点に留意し、介護が必要な時は声かけを頻繁に行き老人の食欲をそそること。熱いものなどにさえ注意していれば、食事介護はそんなに難しいものではない（ただかなりの忍耐が必要）。

家庭で簡単にできる半流動食

- ・片栗粉を水で溶いてとろみをつける
- ・パンをちぎって牛乳に浸す
- ・果物を刻んでヨーグルトに入れる
- ・野菜を細かく刻んで寒天で固める
- ・刺身、とろろ、煮こごり、茶碗蒸し
- ・プリン、ゼリー

喉に詰まりやすい食品

- ・いか、たこ、貝類 } 噛み切れない
- ・餅や豆腐の固まり }
- ・黄桃・白桃の缶詰 } 噛む前に喉に入る
- ・豆類 }
- ・クロワッサンやパイ皮…案外固い
- ・海苔…上顎にくっついて気持ち悪い

⑥「リハビリを受けて、寝たきりを直したい！」

老人ホーム 評価 A

主に寝たきりの人が入るホームを特別養護老人ホームと呼ぶのだが、今は全国ほとんどの特別養護老人ホームで機能回復訓練が行われている。典型的なホームでは、13～15時ぐらいの間にリハビリを組み込む。又ホームは、意欲の低下しがちな老人同士が互いを励みとし、やる気を起こして活動性を高めることに最適の場と言えよう。

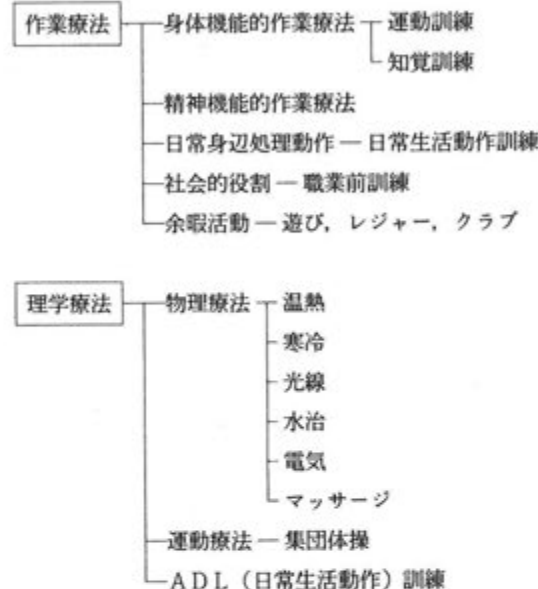
在宅 評価 E

リハビリに対して意欲的な家庭は別として、在宅でリハビリの効果が上がるとは考えにくい。リハビリを続けるための条件ごとに考えてみる。

①指導してくれる人はいるか  
→在宅における指導者は家族の誰かだろうが、老人にとって一番体の調子が良いお昼時、家に居るのは主婦くらいだろう。主婦がリハビリに手を貸せる程暇なわけがない。

②意志の力は強いのか  
→例え1人ででも訓練をして体を動かしたいと思っている人は、初めから寝たきりになったりしないだろう。そうでなくても動きにくい体を動かすには、相当の努力がいる。若い人にならできても、老人には意志の力だけでは乗り越えられないことがある。リハビリがいい例。

矢張り誰か働きかけてくれる人がいなければ、リハビリは望めないと言える。



▲図4 リハビリの種類

⑦「老人ホームの長所も在宅の長所も、どちらも利用したい！」

▼表4 特別養護老人ホームなどが行っている地域サービス

	ショートステイ	ミドルステイ	デイサービス	ナイトケア
対象	・概ね65歳以上 ・在宅寝たきり	・ショートステイと同じ	・概ね65歳以上 ・身体が虚弱、又は寝たきり、痴呆(日常生活を営むのに支障がある)	・概ね65歳以上 ・身体上、精神上に著しい障害 ・夜間に介護が必要
期間	・原則として7日、必要により1か月延長可	・7日から4週間程度	・朝から夕方(車による送迎あり)	・夜間のみ
実施施設	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム	・ショートステイと同じ	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム ・老人保健施設 ・老人福祉センター	・特別養護老人ホーム
介護内容	・ホーム入居者と同じ	・ホーム入居者と同じ	・日常生活動作訓練 ・健康チェック、入浴・給食サービス	・ホーム入居者と同じ
費用	・1日当たり食費相当額	・ショートステイに準じて	・サービスにかかる材料費等実費程度	・飲食物費相当額 ・生活保護世帯は無料 ・一般世帯は1260円が目安

#### IV 考 察

寝たきり老人のSOSに応える為には

結局、寝たきり老人及び重  
介護を必要とする老人にとっ  
て必要なものは何かという、

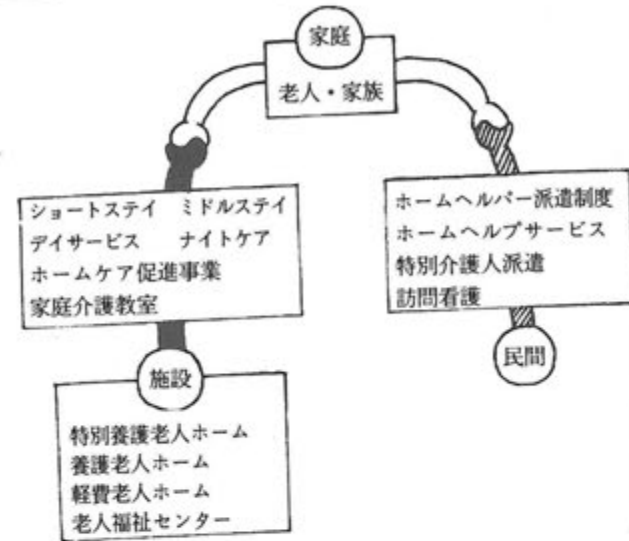
①質の高い適切な介護

②家族の愛情

の2つだろう。老人ホームに  
入れれば①は得られる。しかし  
在宅でなければ常に②に触れ  
ていられることはない。

だから、老人のニーズに応  
えようと思えば、老人ホーム  
と家庭をつなげる何かが必要  
なのではないか。

それは図5のような関係で  
あると思う。



▲図5 施設と家庭のつながりと地域サービスの活用

#### V 総 括

「福祉、福祉」と口では言えても、これを深いところで理解しようとする、大変困難なことであると気付く。何故なら福祉とは即ち「幸福」ということだからだ。ここで取り上げたのは「老人福祉」だったが、では「老人の幸福」とは何だろう。——そう訊かれると、私は言葉を失ってしまう。老人が一番望むこと…？この答えを知ることは、これからの人生の課題となっていこう。この研究がその材料になればいいと思う。そして年老いた時には、自分の幸福を見つけて、死ぬまで幸せに暮らしたい。又、そういう老人が増えれば、日本の福祉制度は自ずと良くなるのではなかろうか。

#### VI 参考文献

朝日新聞「付き添って ルポ 老人介護の24時間」 6/2~4, 8~11, 15, 16, 18

「付き添って第2部 私たちの体験」 7/13~16, 20~23, 27~30, 8/3

(記事 生井久美子 写真 朝日教之)

「絵で見るおとしよりの家庭介護」(菅原恵子著・婦人生活社) P18~89

「在宅老人の介護と看護の実際」(矢内純吉監修・大阪在宅老人研究会編・理工学社)

「有料老人ホーム事情 平成3年度版」(久野万太郎著・同友館) P6~89

「老人が使いやすい道具案内」(銀ちゃん便利堂著・晶文社) P62~119

「老人と家族」(増田光吉・小室豊允編集・中央法規出版) P14~39

「老人の施設介護」(岩田克夫・小室豊允編集・中央法規出版)

協力：特別養護老人ホーム からまつ苑 (大阪市都島区)

大阪市立都島区老人福祉センター

(共にパンフレット等の資料提供)